

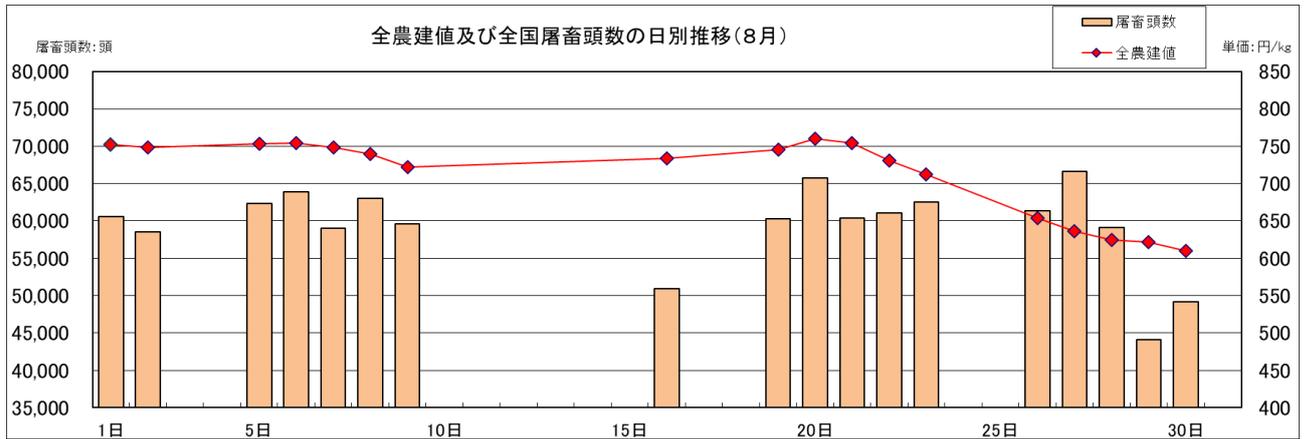
# 肉豚インフォメーション (8月)

## ●8月の動向

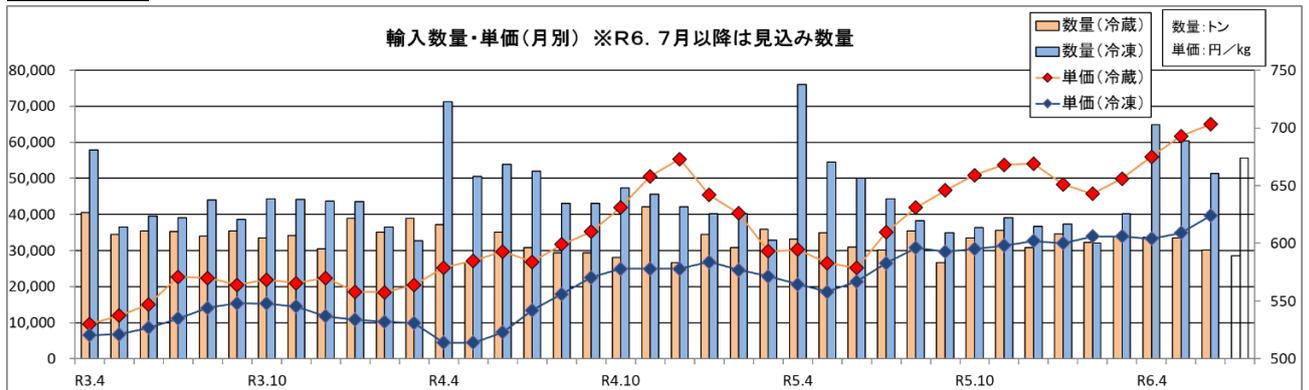
2024年8月(税抜)	2023年8月(税抜)
711円/kg (46円高)	665円/kg

※全農建値

8月は、7月から続く猛暑の影響で出荷頭数が伸び悩み、750円(税抜)前後の高値で推移。盆明けで下げたものの、例年よりも高値での相場展開となった。

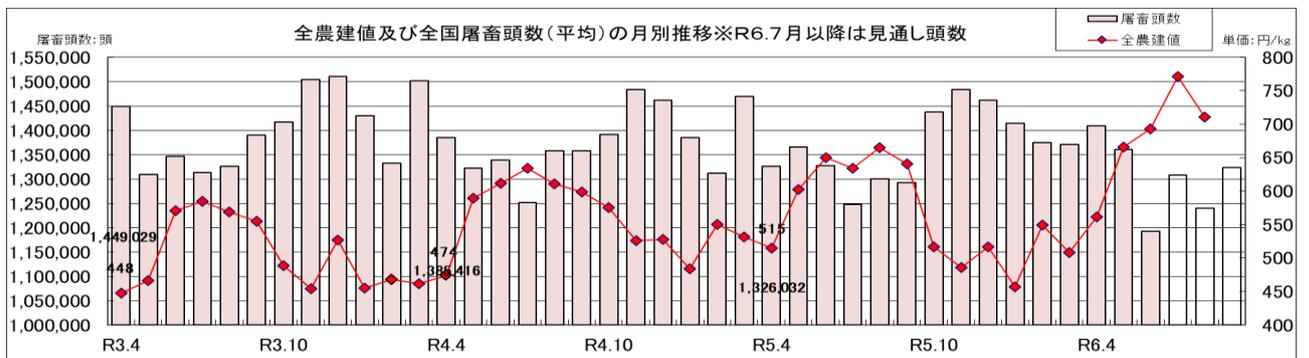


## ●輸入動向



## ●9月の動向

9月の出荷頭数については、前年同月をやや上回ると予測。



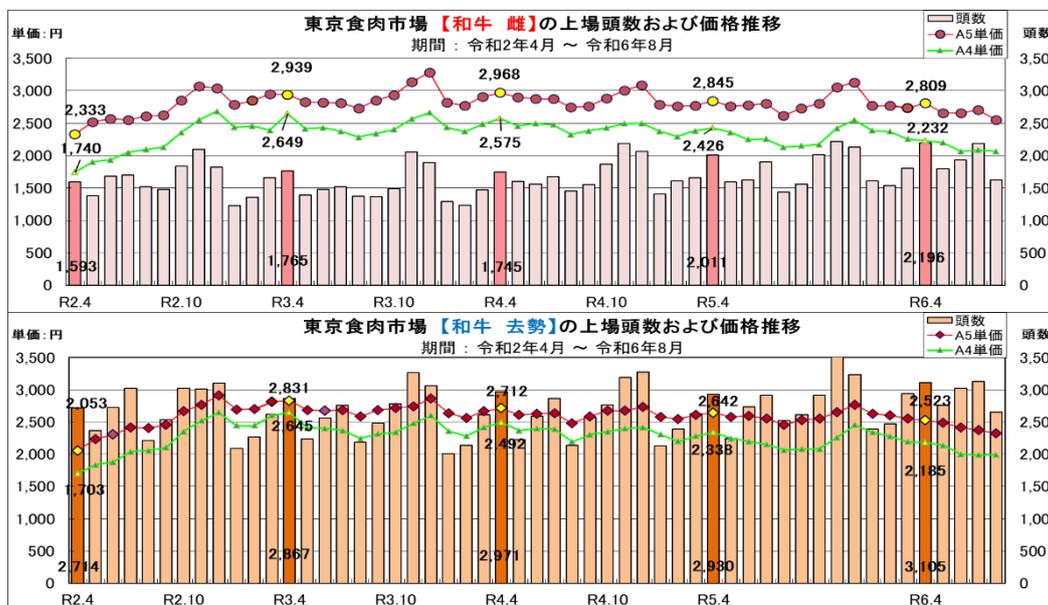
9月の相場については、残暑の影響厳しく、昨年よりやや高値の相場展開と予想。

全農建値(税抜) 予測レンジは600円~650円とする。

# 肉牛インフォメーション（8月）

## ● 8月の動向

8月の相場は、上旬が低迷して進み、盆明け直後はやや回復の兆しを見せたが、全体としては弱もちあいでも推移した。和牛5等級は質の良いものは値を維持したが、4等級は1,800円台も散見された。



## ● 9月の動向予測

9月も引き続き牛肉消費の停滞が見込まれ、在庫が潤沢にあることから、もちあいでも推移すると予測する。和牛・交雑牛ともに、品質や歩留まりの良さによって同じ等級内でも価格差が生じると思われる。

### 9月相場は「もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2,300円（税込み）      A4等級 2,000円（税込み）  
交雑去勢 B4等級 1,650円（税込み）      B3等級 1,550円（税込み）

## ● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、国内需要の低迷により低調に推移する中、輸入品在庫量が多かったことにより前年同月の輸入量が少なかったこと等から、8月、9月ともに前年同月をわずかに上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期と同水準と予測する。

(ALIC 牛肉の需要予測について 8月28日)



# 食肉インフォメーション（8月）

## ●8月の動向

### ○牛肉

8月の前半は、夏休みの行楽需要や盆需要がみられたが、後半に入ると静かな展開となり低価格帯部位が中心の荷動きとなった。和牛では焼き材の動きは比較的良かったが、ロースは荷余りの状態が続いた。

交雑牛はロイン系の販売は振るわなかったが、スソ物は一定の荷動きが見られた。

乳牛は例年この時期に荷余りがみられるが、高値で推移している輸入牛の代替もあり需要は強かった。

### ○豚肉

8月は猛暑の影響や消費者の節約志向により末端消費は決して旺盛とは言えない状況に加え、南海トラフ地震警報や台風の通過が、行楽需要に少なからず影響したため厳しい販売となった。

しかし安価な切り落としや挽材など、普段使いのアイテムは、量販店・小売店ともに継続して引き合いがあった。

## ●9月の動向

### ○牛肉

9月は3連休が2週続くことから、行楽や焼き肉需要の荷動きが期待できる。

卸売各社は和牛の在庫を多く抱えているため、量販店では産地フェアを開催し消費拡大を図られる。また月後半には棚替えも始まり、需要は徐々に焼き材からスライス商材へ切り替わっていく見込み。

### ○豚肉

9月は秋の行楽需要や学校給食の再開によりウデやモモの荷動きは引き続き安定したものになる見込み。しかし、残暑や高値相場に対する消費者の節約志向の高まりから、ロイン系など高単価部位については厳しい展開と予想される。

輸入ポークについては、為替が円高に振れたことで価格が下がり、国産からのシフトが進むことも考えられる。

## ●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和6年7月期） 単位：千円、%

年度	J A どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和4年度7月	26,704	3,291	21,863	21,089	12,168	6,169	107,505
令和5年度7月	23,694	3,219	20,932	19,841	10,668	5,211	83,565
令和6年度7月	23,424	3,706	30,735	20,360	11,946	5,475	95,646
増減（R5-R6）	-270	487	9,803	519	1,278	264	12,081
対比（R4/R6）	88%	113%	141%	97%	98%	89%	89%
対比（R5/R6）	99%	115%	147%	103%	112%	105%	114%

